

# Hip Joint news

(公財) 日本股関節研究振興財団会報

URL <http://www.kokansetu.or.jp>

E-mail [info@kokansetu.or.jp](mailto:info@kokansetu.or.jp)

第8号 平成30年 8月

発行 公益財団法人  
日本股関節研究振興財団  
〒154-0011

東京都世田谷区上馬 1-13-11

電話 03-3421-6552

FAX 03-3421-6716

## 創立30周年祝辞

公益財団法人日本股関節研究振興財団理事  
労働者健康安全機構九州労災病院院長  
九州大学名誉教授

岩本幸英



私は、前職である九州大学整形外科教授時代から、本財団の主旨に心から共感し、長年理事として、財団の運営のお手伝いをして参りました。当財団の活動内容をよく知る者として、別府理事長が遠慮して申しあげられなかったことも含め、当財団が、どんなに世の中のためになる活動を行っているかを皆様にご紹介したいと存じます。また、本日ご列席の皆様、当財団に対する日頃のご支援に、心からの御礼を申しあげたいと存じます。

当財団は、昭和62年に、東京慈恵会医科大学元主任教授の伊丹康人先生が、私財を投じて設立された財団でございます。伊丹先生はわが国の股関節外科学の真のリーダーであられ、当財団の研究支援を通じて、わが国の股関節外科のリーダーを多数育成されました。伊丹理事長が平成28年に102歳でご逝去された後は、伊丹先生の遺志を継がれた聖マリアンナ医大名誉教授の別府諸兄先生が理事長に就任され、さらに財団の活動を活性化されました。平成23年に当財団は、長年にわたる活動実績と公益性が評価され、内閣府から公益財団法人としての認可を受け、今日に至って

おります。

当財団の活動について、もう少し詳しくご説明させていただきたいと存じます。当財団の活動の柱は、股関節に関する研究助成事業と、国民および社会の股関節に関する理解を深めるための啓発活動でございます。

研究助成については、全国の若手股関節外科医の有望な研究に対し、これまでの30年間に総額1億5千万円以上にも及ぶ研究助成を行って参りました。また、股関節外科で有名な国内外の施設における若手股関節外科医の研修に対する助成も行なって参りました。このような財団の支援を受けた方々の中には、当時まだ駆け出しで、科学研究費などの公的研究費を獲得できず困っている方々も含まれておりました。その中から何人もの方が、財団の支援をきっかけとして大きく飛躍し、現在のが国の股関節外科のリーダーに育っております。

一方、国民・社会に対する広報・啓発活動としては、股関節市民フォーラムの開催、患者さん向けの書籍や映像の作成と配布など、国民目線、患者さん目線のきめの

細かい活動を行って参りました。たとえば、最近当財団が患者さん向けに発行した本として、「人工股関節の手術を受ける人が（手術前に）読んでおきたい本」および「（手術後に）読みたい本」の2冊がありますが、いずれも患者さんの目線に立つて、手術前後の不安を取り除いてくれる本として大好評であり、全国の数多くの患者さんに愛読されております。

また、股関節外科の枠を超えた幅広い活動も行っております。例えば、国の施策である「健康寿命の延伸」を実現するためには、日本整形外科学会が推進しているロコモティブシンドローム対策が重要と考え、当財団独自に考案したロコモン体操の実践指導、普及活動などの健康寿命延伸事業を進めております。

以上述べましたように、当財団の活動は、今や国民の健康およびわが国の股関節研究にとって欠かすことのできない重要なものとなってまいります。私達役員および職員一同は、今後も引き続き別府理事長を盛り立て、国民と社会のために活発な活動を続けたいと存じております。本日ご列席賜りましたご来賓の皆様、法人会員の皆様、関連企業の皆様におかれましては、今後も世の中のために活動している当財団に、力強いご支援を賜りますようお願いいたします。私のご挨拶とさせていただきます。

# 創立 30 周年記念パーティーを開催しました。

財団創立 30 周年記念パーティーを平成 30 年 6 月 10 日（日）、TKP ガーデンシティ品川 アネモネにて、開催いたしました。天候は生憎の雨となりましたが、多数のご出席をいただき大変盛況な会となりました。まず、冒頭の主賓の挨拶では、財団の顧問で日本医師会会長・世界医師会会長の横倉義武先生の代理として、日本医師会副会長の今村聡先生、財団の理事で九州大学名誉教授、



九州労災病院院長の岩本幸英先生、衆議院議員で医療法人永生会の理事長でもある安藤高夫先生のご挨拶・祝辞をいただきました。引き続いて行われた、長年寄附者様への表彰式では、5 名の方々を表彰いたしました。（2 個人、3 法人※下記参照）また、この度は、ご支援いただいている股関節疾患の患者様方も出席されており、代表して今澤知江様より激励をいただきました。乾杯は、財団の役員を歴任した、埼玉医科大学名誉学長である東 博彦先生のご発声をいただきました。



今村聡先生



岩本幸英先生



安藤高夫先生



東博彦先生



今澤知江様

## 長年寄附者表彰

藤崎病院副院長 大久保康一 先生  
末谷誠一 様  
プライムメディカ株式会社 様  
仁生社 江戸川病院 様  
紺整会 船橋整形外科病院 様

長年、多額のご支援賜りました皆様に深く感謝申し上げます。



長年寄附者表彰式の様子  
※左から大久保康一先生、別府理事長

現在、当財団が力を入れております「股関節海外研修助成」のご報告も行われました。まず、平成 29 年度の交付者を代表して田巻達也先生が、「海外研修ご報告」、そして本年度交付者の藪野互平先生と大森隆昭先生が出席され、抱負を述べられました。本年度海外研修は、9 月初旬より

仏・独・スイスにて行われます。

閉会まで和やかに歓談され、非常に充実した会となりました。また、当財団の活動・理念を再認識できた良い機会となりました。今後とも、当財団をご支援いただければ、幸いと存じます。



田巻達也先生



藪野互平先生



大森隆昭先生

## 股関節クレジット募金

お手持ちのクレジットカード（VISA・MASTER・JCB・AMEX・DINERS）から、「毎月継続」、「今回（1回）」の2種類より、簡単に募金を行えるようになりました。パソコン、タブレット、スマホより、当財団「股関節クレジット募金」ページにアクセスしていただく募金です。

是非、未来の股関節研究、ひいては股関節疾患を患っている患者様のために、募金いただければ幸いです。

「股関節クレジット募金」ページ URL

[http://www.kokansetu.or.jp/rakuraku/donation\\_credit.html](http://www.kokansetu.or.jp/rakuraku/donation_credit.html)

「股関節クレジット募金」ページ QR コード



---

## HJFJ 人工関節ステッカー

人工股関節の手術を受けた患者様からのご要望で、海外の空港での金属探知機ゲートでエラー音になるので、「外国語での説明が難しい」とのご相談が寄せられたため、人工股関節患者であることがわかるように当財団で人工股関節のイラストと英語表記のあるステッカーを作成いたしました。※サイズ7.1cm×4.4cm

### ☆具体的な活用方法

- ヘルプマークに貼る
- 各種証明書に貼る
- ※パスポートその他所持品に貼る
- ※ネームプレート、キーホルダー、ワッペン等

### ☆入手方法

下記のお問合せ先より、「HJFJ 人工股関節ステッカー希望」とご連絡ください。

公益財団法人日本股関節研究振興財団

TEL03-3421-6552、FAX03-3421-6716

E-mail [info@kokansetu.or.jp](mailto:info@kokansetu.or.jp)

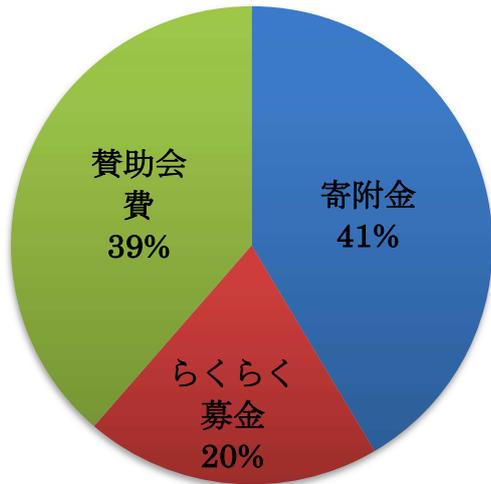
財団 HJFJ 人工股関節ステッカーページ URL

<http://www.kokansetu.or.jp/personal/hjfjsticker.html>



# 「寄附金・らくらく募金・賛助会費決算報告」

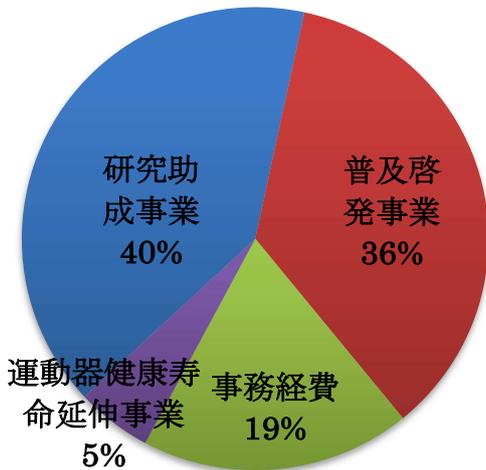
平成 29 年度に当財団が皆様からお預かりした寄附金・らくらく募金・賛助会費の総額は、14,774,000 円でした。そのうち 5,957,000 円が助成金として股関節の研究のため、5,278,000 円が普及啓発事業のため、773,000 円が運動器健康寿命延伸事業のため、2,766,000 円が事務経費となり、財団の活動に大きく貢献する結果となっています。



| 収入     | 金額 (円)     |
|--------|------------|
| 寄附金    | 6,130,000  |
| らくらく募金 | 2,935,000  |
| 賛助会費   | 5,709,000  |
| 合計     | 14,774,000 |

※1,000 円以下四捨五入

※普及啓発事業の主な事業は、市民フォーラムです。  
運動器健康寿命延伸事業の主な事業は、運動器健康寿命延伸体操(ロコモン体操)講習会です。



| 事業名         | 金額 (円)     |
|-------------|------------|
| 研究助成事業      | 5,957,000  |
| 普及啓発事業      | 5,278,000  |
| 運動器健康寿命延伸事業 | 773,000    |
| 事務経費        | 2,766,000  |
| 合計          | 14,774,000 |

※1,000 円以下四捨五入

## 役員名簿

**理事長** 別府 諸兄 (聖マリアンナ医科大学名誉教授)  
**専務理事** 泉田 良一 (江戸川病院 慶友人工関節センター長)  
**理事** 飯田 寛和 (関西医科大学総合医療センター 人工関節センター長・理事長特命教授)

岩本 幸英 (九州労災病院 院長)  
 大久 保康一 (藤崎病院 副院長・整形外科部長)  
 白土 英明 (船橋整形外科病院 院長)  
 清家 輝文 (編集工房ソシエタス 代表)  
 帖佐 悦男 (宮崎大学 教授)  
 冨森 浩二 (帝人ファーマ(株)在宅医療事業本部 担当部長)  
 内藤 正俊 (福岡山王病院 病院長)  
 中島 義雄 (ナカシマホールディングス 常務取締役)  
 樋口 富士男 (柳川リハビリテーション病院 病院長)  
 安永 裕司 (広島県立障害者リハビリテーションセンター 所長)

**監事** 東郷 良尚 (公財)日本ユニセフ協会副会長  
 下西 惇夫 (元帝人(株) 事業管理部長)  
 一青 勝雄 (順天堂大学医学部整形外科学講座客員教授)

**評議員** 秋山 治彦 (岐阜大学 教授)  
 石井 千恵 (清心会藤沢病院 企画調査室長)  
 大谷 卓也 (東京慈恵会医科大学 教授)  
 大野 誠 (日本体育大学大学院 教授)  
 黒田 龍彦 (旭化成(株)ヘルスケア研究開発センター)  
 谷 真人 (日比谷見附法律事務所 弁護士)  
 富田 直秀 (京都大学 教授)

別府 裕美子 (メディカルフィットネス研究所 代表)  
 本間 生夫 (東京有明医療大学 学長)  
 間島 直彦 (愛媛大学 教授)  
 山本 謙吾 (東京医科大学 教授)  
 米倉 芳枝 (前滋賀天産物研究所 監査役)

(平成30年8月現在) (敬称略・五十音順)